

原田湛玄老師の略歴

1924年、8月24日、日本国、新潟県に生まれる。

1943年、日本は第二次世界大戦の真っ只中、戦況はどんどん悪化していた。そんななか、当時18才であった老師は特攻隊を志願した。(特攻隊とは戦闘機に爆弾をつんでアメリカの軍艦にぶつかる、という戦法)

わずか一年間でパイロットを養成する猛訓練を受ける。

1945年8月15日、あと一時間後に自分の出発が決まっていたが、天皇陛下が日本の敗戦を宣言したため、命を投げ出すことが出来なかった。

その後ロシア軍の捕虜となったが、運良く翌年日本に帰国することが出来た。

しかし、先に飛んで行って国のために命を投げだして死んだ、一緒に訓練した仲間のことを思うと苦しくてたまらず、悩み苦しんでいた。

そんな時、人から原田祖岳老師のことをお聞きし、発心寺僧堂の門をたたいた。そして原田祖岳老師に、自分の悩み苦しみをすべて話したところ、老師は(私の言うことを信じきって、いのちがけで修業すれば、あなたのその問題は必ず解決する)とおっしゃられた。そこで(命がけでやります)と約束し、修業がはじまった。

果たせるかな、修業が始まって一年程で、その問題を根本から解決することができた。

その後10年間、原田祖岳老師のもと発心寺で修業をつづけ、1955年30才で現在の仏国寺の住職となり、以後50年以上にわたり、日本国内からはもちろん世界各国からの修業者を広く受け入れて、真実の仏法を説き、座禅指導をつづけ今日にいたる。

以上